



杉並区

杉並区内で撮影された野鳥を紹介

30.10.5
杉並区広報課

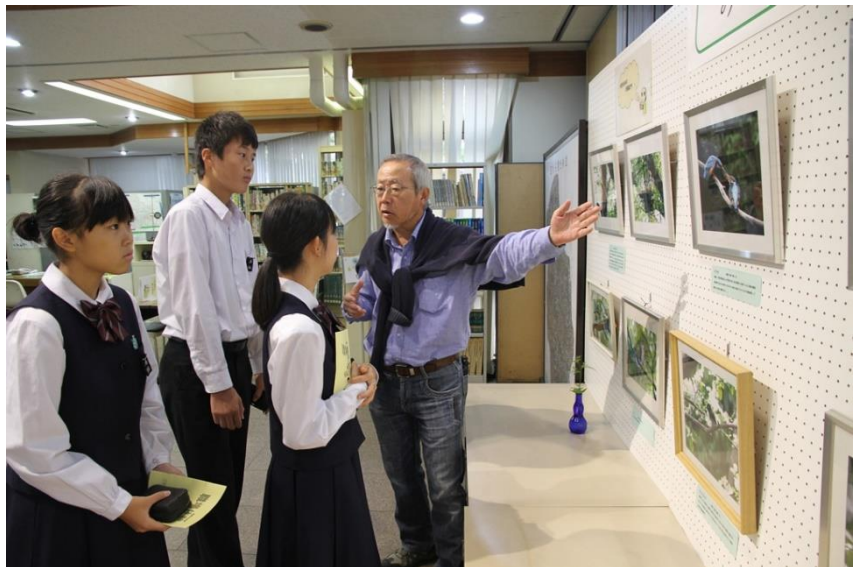
「撮鳥仲間」が写真展開催

区立塚山公園では、杉並区内で撮影されたタカやサンコウチョウ、カワセミなどの野鳥の写真が展示され、来場者を楽しませています。この写真展は、区内下高井戸在住の仲野遵さん(67歳)が野鳥の撮影を趣味とする仲間にか声をかけて開催したもので、野鳥の一瞬を捉えた自慢の作品12点が展示されています。写真展は、11月末までで写真は順次入れ替えて展示をしていきます。

仲野さんは、野鳥の写真撮影が趣味で、北は北海道から南は奄美諸島まで野鳥を追いかけています。野鳥の中でも、勇猛なワシやタカに魅せられています。そのタカも、2年ほど前に区内で営巣していることが確認され、仲野さんも子育ての姿をカメラで収めてきました。その写真の中には、親鳥がドバトやムクドリを捕らえて幼鳥に与える写真もあります。

杉並区や練馬区、世田谷区の23区西部と武蔵野市、三鷹市など井之頭公園に続く一帯は、野鳥が多いエリアの一つとして「撮鳥仲間」の間でも有名だということです。仲野さんも、こうしたエリアで写真撮影をするなかで、多くの仲間と出会い、情報交換をしながら野鳥の撮影を楽しんでいます。

今回、写真展を開催する塚山公園(下高井戸5-23-12)は、神田川の南側に位置し、大きな樹木があり野鳥も多く生息しています。仲野さんの自宅からも近く、時間があると撮影に立ち寄っていました。そうしたことで、公園職員とも顔見知りとなり、写真展を開催することとなりました。



仲野さんは、「川がきれいになって魚が増えると自然とカワセミも増えてきます。森に木の実が増えれば、小動物が増えタカも増えます。こうしたことを知ってもらうことで、地球環境と人間社会の関わり方を考えてもらいたいです。」と話しました。

【問い合わせ先】

塚山公園管理事務所 03-3302-8989

総務部広報課 03-3312-2111